

# 奈良県の地震

## 【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

## 【奈良県地震概況】

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

## 【地震一口メモ】

長期評価による地震発生確率値の更新について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため 1989 年 1 月より月 1 回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台

2025 年 1 月

本誌の過去分は奈良地方気象台ホームページでご覧いただけます。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.html>

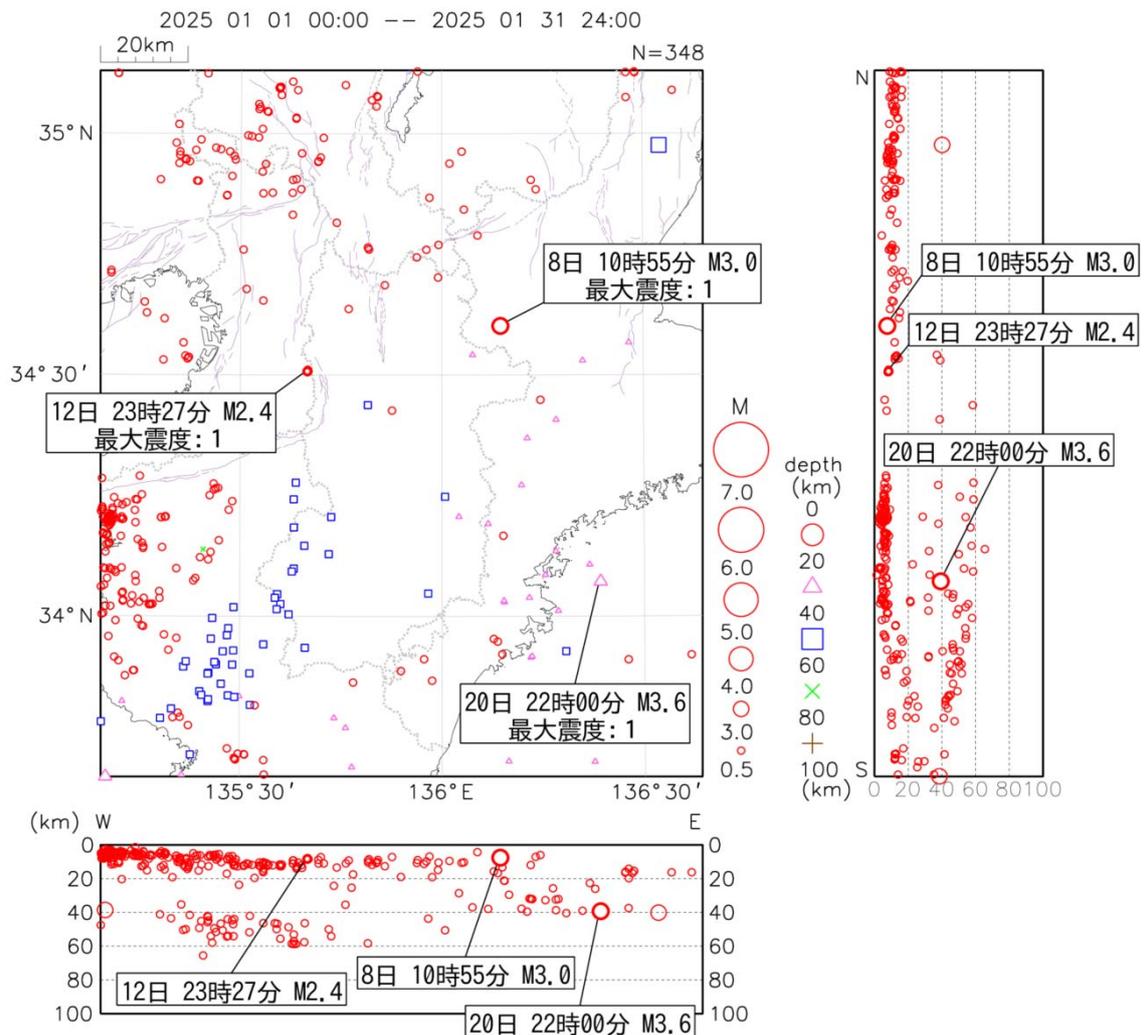


# 【奈良県の地震活動図】

## 震央分布図と断面図

震央分布図（左上）は、地震が発生した場所を地図上に表し、記号の大きさで地震の規模（マグニチュード、Mとも表記）と記号の種類で震源の深さを表しています。また、紫色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表しています。南北方向の断面図（右上）と、東西方向の断面図（左下）で地震の垂直分布を表し、これらにより地震の発生状況と規模が把握しやすくなります。

図中の吹き出しは、奈良県内で震度1以上を観測した地震を示しており、地震の発生日時や規模等を記載しています。なお、最大震度は奈良県内とは限りません。



## 【奈良県地震概況】

8日10時55分 三重県中部の地震（最大震度1、深さ8km、M3.0）により、奈良県内では山添村で震度1を観測しました。

12日23時27分 大阪府南部の地震（最大震度1、深さ8km、M2.4）により、御所市、香芝市、葛城市で震度1を観測しました。

20日22時00分 三重県南東沖の地震（最大震度1、深さ39km、M3.6）により、奈良県内では高取町、吉野町、天川村、宇陀市で震度1を観測しました。

## 【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度（奈良県内のみ記載）					
2025年01月08日10時55分	三重県中部	34°36.1' N	136°08.7' E	8km	M3.0
震度 1：山添村大西*					
2025年01月12日23時27分	大阪府南部	34°30.4' N	135°39.9' E	8km	M2.4
震度 1：御所市役所*、香芝市本町*、葛城市柿本*					
2025年01月20日22時00分	三重県南東沖	34°04.3' N	136°23.5' E	39km	M3.6
震度 1：高取町観覚寺*、吉野町上市*、天川村洞川、宇陀市菟田野松井*					

\*印は地方公共団体等の震度観測点です

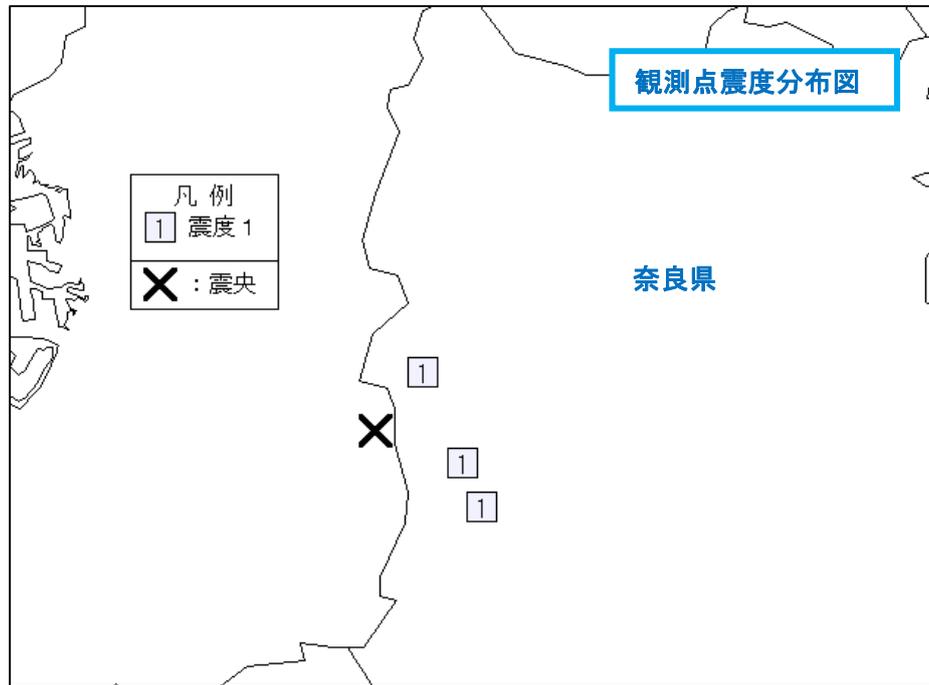
## 【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布】

2025年01月08日10時55分 三重県中部 34°36.1' N 136°08.7' E 8km M3.0



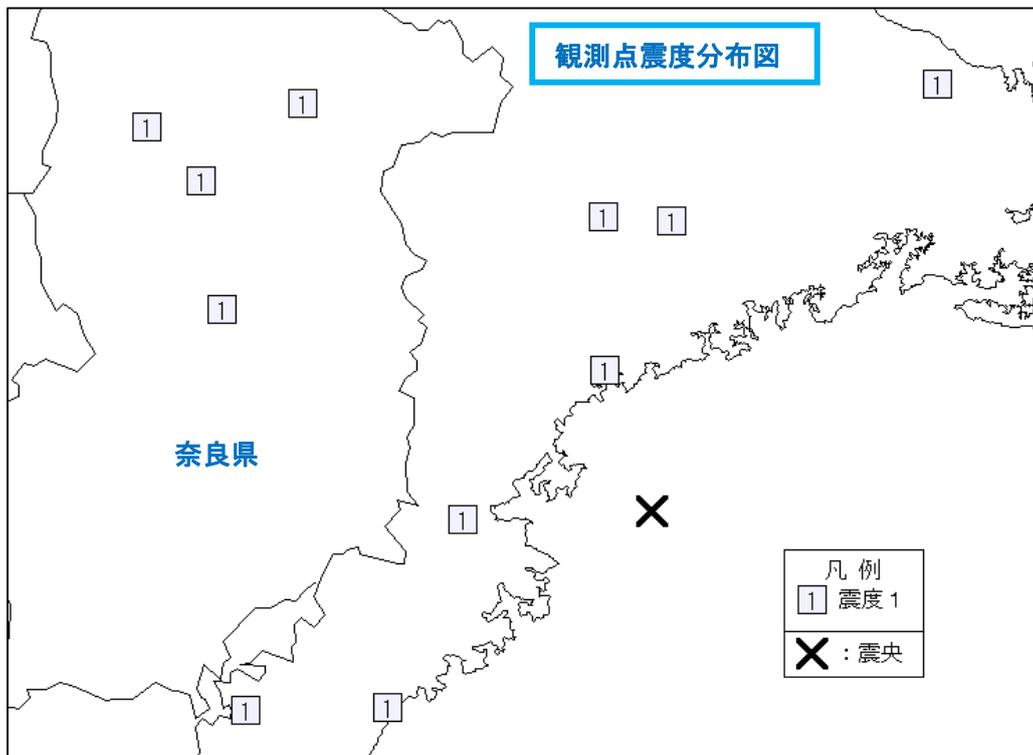
2025年01月12日23時27分 大阪府南部

34° 30.4' N 135° 39.9' E 8km M2.4



2025年01月20日22時00分 三重県南東沖

34° 04.3' N 136° 23.5' E 39km M3.6



# 【地震一口メモ】

## 長期評価による地震発生確率値の更新について

政府の地震調査研究推進本部（以下、「地震本部」と言う。）は、大きな被害をもたらす可能性が高い、主要な活断層で起きる地震や海溝型地震の長期評価による地震発生確率値を毎年更新しており、今年も2025年1月1日を算定基準日とした長期評価を1月15日に公表しています。

南海トラフ地震については、30年以内の地震発生確率が「70%～80%」から「80%程度」に更新されました。これは、急に危険度が高まったわけではなく、時間の経過により確率が更新されたものです。前回の南海トラフ地震（1944年、1946年）が発生してから約80年が経過しており、次の南海トラフ地震発生の切迫性は高い状態です。

奈良県周辺の主要な活断層については、地震発生確率などの表記の更新はありませんでした。30年以内の地震発生確率は南海トラフ地震と比べると小さく感じるかもしれませんが、活断層による地震は平均活動間隔が数千年と長いからです。活断層が存在すること自体、その地域で規模の大きな地震が発生する可能性を示しています。また、活断層が確認されていない場所でも被害をもたらすような地震が起きることがあります。

日本は世界的に見ても地震活動が活発で、どの場所においても、地震による強い揺れに見舞われるおそれがあります。地震から身を守るためには、事前の備えがとても重要です。家具の耐震固定や建物の耐震補強、非常用持ち出し品の用意、避難場所の確認などをおきましょう。また、緊急地震速報を見聞きした時や、突然、地震の揺れを感じたら、あわてず、状況に応じた身を守る行動を適切にとれるよう日頃から安全確保行動を意識するようにしましょう。



奈良県周辺の主要な活断層  
奈良地方気象台のホームページ  
「奈良県の地震の特徴」より

### 南海トラフ地震の長期評価（一部を抜粋、下線部分が更新された箇所）

長期評価で予想した地震規模	ランク (注1)	地震発生確率		地震後経過率 (注2)
		10年以内	30年以内	
8～9クラス	Ⅲ*ランク	30%程度	<u>80%程度</u>	<u>0.90</u>

注1 海溝型地震における今後30年以内の地震発生確率が26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明（すぐに地震が起きることを否定できない）を「Ⅹランク」と表記している。地震後経過率（注2）が0.7以上である海溝型地震については、ランクに「\*」を付記している。

注2 最新発生時期から評価時点までの経過時間を、平均発生間隔で割った値。最新の地震発生時期から評価時点までの経過時間が、平均発生間隔に達すると1.0となる。

奈良県周辺の主要な活断層の長期評価（一部を抜粋）

断層帯名 (起震断層/活動区間)	長期評価で予想 した地震規模	ランク (注3)	地震発生確率 30年以内	地震後経過率 (注4)
奈良盆地東縁断層帯	7.4程度	S*ランク	ほぼ0%~5%	0.2-2.2
生駒断層帯	7.0-7.5程度	Aランク	ほぼ0%~0.2%	0.2-0.5
木津川断層帯	7.3程度	Zランク	ほぼ0%	0.007-0.04
中央構造線断層帯 (金剛山地東縁区間)	6.8程度	Zランク	ほぼ0%	0.2-0.3
中央構造線断層帯 (五条谷区間)	7.3程度	Xランク	不明	不明

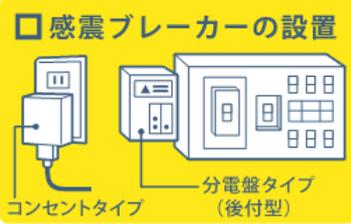
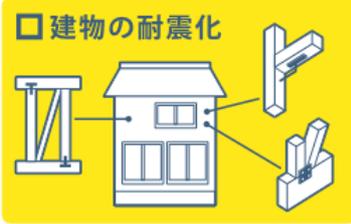
注3 活断層における今後30年以内の地震発生確率が3%以上を「Sランク」、0.1~3%未満を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記している。地震後経過率（注4）が0.7以上である活断層については、ランクに「\*」を付記している。

注4 最新活動（地震発生）時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値。最新の地震発生時期から評価時点までの経過時間が、平均活動間隔に達すると1.0となる。

地震本部 長期評価による地震発生確率値の更新について（令和7年1月15日公表）

[https://www.jishin.go.jp/evaluation/long\\_term\\_evaluation/chousa\\_25jan\\_kakuritsu\\_index/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/chousa_25jan_kakuritsu_index/)



<input type="checkbox"/> 家具の固定 	<input type="checkbox"/> 非常用 持ち出し袋の準備 	<input type="checkbox"/> 水や食料の備蓄 
<input type="checkbox"/> 避難場所や 避難経路の確認 	<input type="checkbox"/> 感震ブレーカーの設置  コンセントタイプ      分電盤タイプ（後付型）	<input type="checkbox"/> 建物の耐震化 

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

気象庁リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」より

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>

